

# 事業報告書

令和4年4月1日より令和5年3月31日まで

公益社団法人 全日本書道連盟

## 公益目的事業 1

書道に関する講演・講習会事業および地域書道団体に対する助成金給付事業

### 1. 講演・講習会事業

#### (1) 夏期書道大学講座

日 時 令和4年8月5日（金）～8月7日（日）

会 場 東京都豊島区東池袋 サンシャインシティ・コンファレンスルーム

上記のとおり開催すべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止した。

#### (2) 書写書道教育講演会

日 時 令和4年6月2日（木）

会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒・桜の間

聴 講 者 数 81名

演題／講師 「不器用さがある子どもの書字動作の特徴と書く力を伸ばす身体の使い方について」

神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 学科長 笹田 哲 氏

新型コロナウイルス感染対策のため、聴講者数を制限して開催した。

#### (3) 書道講演会

日 時 令和4年12月2日（金）

会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒・桐の間

聴 講 者 数 146名

演題／講師 「日本再発見——奇妙な国のソフトパワー」

国際政治学者

シンクタンク、株式会社 山猫総合研究所代表

三浦 瑠麗 氏

#### (4) 書写書道教育確立のため、資料収集ならびに調査研究を続けている

### 2. 助成金給付事業

#### (1) 助成事業

全国書道団体の活性化、書道文化ならびに書写書道教育の充実発展に繋げることを目的とし、都道府県、市区町村等の単位で組織される書道団体が主催する講演会、講習会等の事業運営に対して助成した。

○全日本書写書道教育研究会第 62 回全国大会（東京）

日 時 令和 4 年 11 月 4 日， 5 日

会 場 江戸川区立南小岩第二小学校、タワーホール船堀

主催団体 全日本書写書道教育研究会

○第 47 回全日本高等学校書道教育研究会岐阜大会

日 時 令和 4 年 11 月 17 日， 18 日

会 場 岐阜県立岐阜総合学園高等学校

主催団体 全日本高等学校書道教育研究会

○第 50 回日本の書展茨城展記念講演会

日 時 令和 5 年 4 月 8 日

会 場 ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県水戸市）

主催団体 茨城書道美術振興会

## （2）展覧会、講習会、講演会などの事業に対する後援 149 件

会員（維持団体、賛助団体、正会員、準会員）が主催に加わる事業に対し、無料で後援している。

## 公益目的事業 2

日本赤十字社への募金による社会活動への協力奉仕

### （1）助けあい募金

社会事業に役立てていただくべく、団体会員（維持団体・賛助団体）を主な対象とし、募金をお願いした。

募金協力件数 119 件 募金総額 188 万円

本会計から加算して 200 万円とし、日本赤十字社へ「事業資金」として寄託した。

## 相互扶助事業 1

書写・書道教育推進協議会への協力事業、日本書道ユネスコ登録推進協議会への協力事業、書塾ハンドブック発行事業、福利厚生事業、会報発行事業

### （1）書写・書道教育推進協議会

同協議会構成 6 団体のひとつで、協議会事務局として活動に協力した。

学校教育において書写・書道の授業が確実に、充実した内容で実施されるよう、平成 26 年から活動を続けている。

### （2）日本書道ユネスコ登録推進協議会

同協議会発起 3 団体のひとつとして、活動に協力した。

「日本の書道文化」が、国際連合教育科学文化機関（＝ユネスコ）の、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（＝代表一覧表）」に記載されることを目的として、平成 27 年から推進運動を続けている。

### (3) 「書塾ハンドブック」の発行

創立 70 周年（令和 3 年 4 月）記念事業のひとつとして、令和 3 年度中から製作を進めていた。これから書塾を始めたいと思われる方にはもちろんのこと、すでに開いておられる方にも、現代の書塾運営において考慮しておくべき目安、指針として示した内容となっている。

### (4) 文芸美術国民健康保険組合への加入

本連盟は昭和 31 年より同国保に団体加入しており、連盟会員で、かつ書に専従する方を対象に、同国保加入の斡旋をしている。

連盟を通じて組合に加入しているもの（令和 5 年 3 月 31 日現在）

組合員	79名	（前期比 -14名）
家族	55名	（同 -10名）
合計	134名	（同 -24名）

かっこ内は、令和 3 年度末（令和 4 年 3 月末）との比較。

書に専従していることの確認徹底、また後期高齢者医療制度により満 75 歳になると国保へ移らねばならないこともあり、加入者は減少傾向にある。

### (5) 会報の発行 3 回（第 165 号～167 号）

## その他

### (1) 令和 5 年 3 月 31 日現在の本連盟会員数は次のとおり

正会員	1,753名	（前期比 -69名）
準会員	51名	（同 -5名）
維持団体	16団体	（同 変わらず）
賛助団体	153団体	（同 +4団体）

かっこ内は、令和 3 年度末（令和 4 年 3 月末）との比較。

### (2) 役員会開催 理事会 3 回（第 182 回～第 184 回）